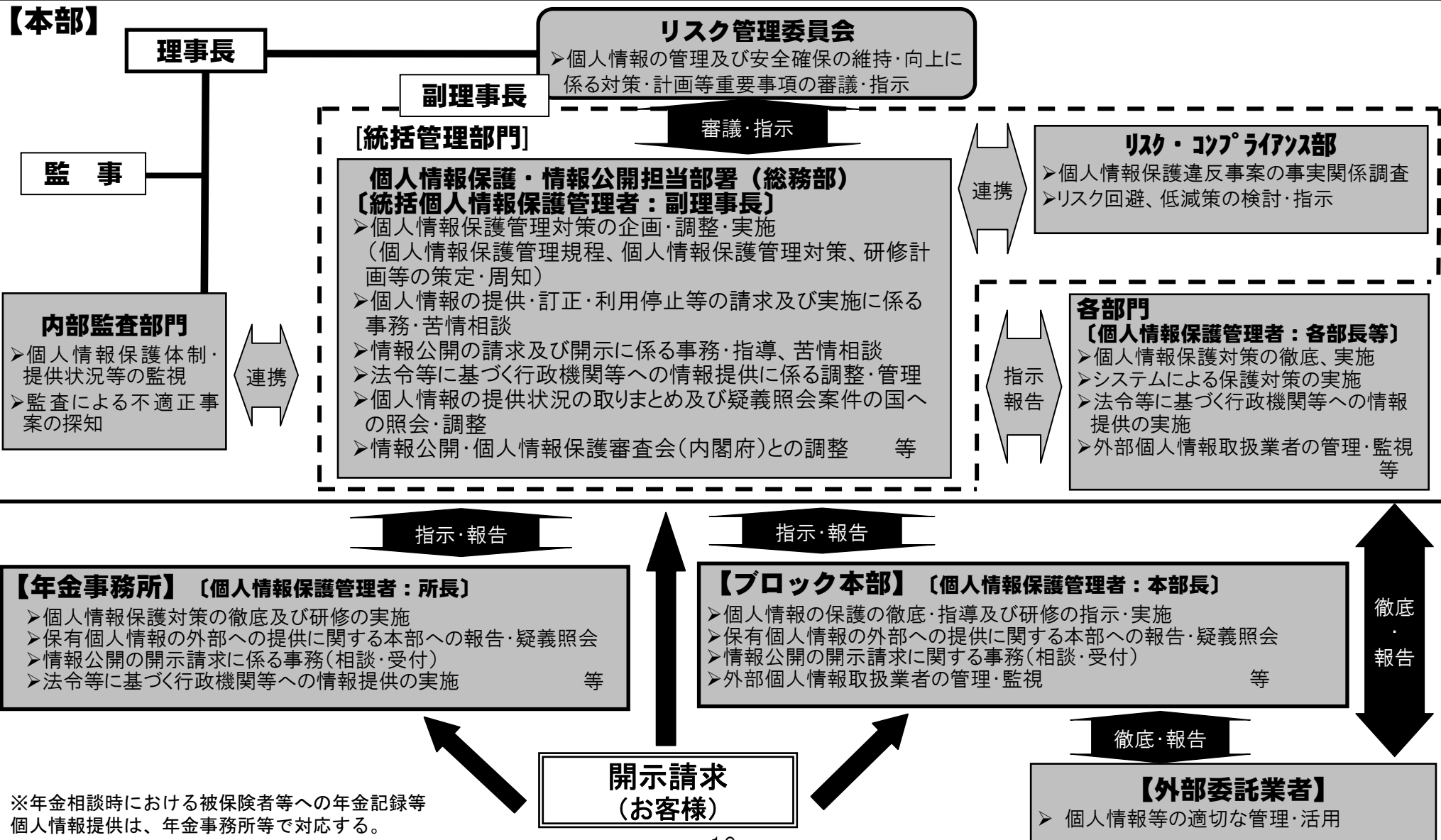


(2) 情報の適切な管理・活用の仕組み(個人情報保護管理・情報公開請求対応)

- 個人情報保護・情報公開担当部署を設置し、個人情報保護管理を徹底
- 個人情報保護、情報公開、行政機関等への情報提供を一体的に管理・対応
- 内部監査部門、コンプライアンス担当部署等とも連携してガバナンスを確保



(3) 具体的な取組内容

個人情報保護対策の積極的な推進

- 公的年金事業及び公的年金制度に対する国民の「信頼回復」を図るため、個人情報保護管理の重要性を職員全員が認識し、積極的に取組を推進。システム周辺のみならず、事務処理スペースや窓口においても、徹底したセキュリティ対策を講じるとともに、職員の意識改革を図る。

◎新たな取組みの具体例

- 外部専門家（コンサルタント）等の意見を通じて、プライバシーマーク^(注)の基準のうち、日本年金機構に導入可能な部分を抽出して、日本年金機構としての「基準」を設け、当該基準の計画的導入を図る。
- 積極的な取組みの推進に際しては、モデルとなる「年金事務所」を全国で数カ所指定し、これらの事務所から実験的に導入することで、その効果・課題などを検証し、全国展開の効率的方策を検討する。
- 民間企業で行われている研修を踏まえて、本部・各ブロック本部・各事務所における個人情報保護意識の向上を図るとともに、プライバシーに係る資格取得を奨励するなどにより、意識改革を積極的に推進する。

(注) 日本工業規格「JIS Q 15001個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」に適合して、個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者等を認定するもの

【個人情報保護対策の推進の流れ】

○「個人情報保護管理推進プラン」（複数年度）

- ・ 民間企業における個人情報保護対策の導入事例やこれまでの第一線組織での事例等を踏まえ、複数年度にわたる、個人情報保護の推進計画を策定。

○「年度実施計画」（各年度）

- ・ 当該年度における実施内容を具体化

○研修の実施による実施内容の徹底・意識改革

- 先進的な取組については、「モデル事務所」を指定して先行実施
- 年金事務所長等のリーダーシップや、自主的な取組による業務改善についても、あわせて推奨

○個人情報保護に関する監査を実施（監事・監査部門）

- 「推進プラン」「年度実施計画」の進捗状況を評価
- 「モデル事務所」の取組について評価・検証を行い、改善点や全国展開の可能性について検討。
- 各事務所の取組事例を検討し、全国展開の可能性を検証

○「推進プラン」・「実施計画」の見直し・変更